

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募

新規企画支援事業 採択事業

事業名 主題	子どもの未来の為の協働促進事業	
事業名 副題	不条理の連鎖を癒し、皆が共に生きる地域エコシステムの共創	
団体名	特定非営利活動法人 エティック	
代表者名	代表理事	宮城治男
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動;①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	
事業の概要	<p>貧困・虐待・いじめ等、子どもを取り巻く深刻な課題に対し、関係者は様々な努力を現場で重ねてきたが、対応が追い付かず疲弊している。個別での対処療法的取組みが限界を示す中、諸機関が連携し、予防・早期発見・対応ができる地域エコシステムの共創が必要である。本事業は、全国4-5地域において、中間支援組織（実行団体）に対し、資金提供及び伴走支援（集合研修と個別支援）を行う。それにより同組織のチェンジ・エージェン機能（コーディネーション、課題の見える化・構造化、対話の促進など）が向上し、地域内の協働プロセスとガバナンス構築を支援することで、課題解決を力強く推進するコレクティブ・インパクトの実現を目指す。</p>	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	200,000,000
	PO関連経費	27,996,000
	評価関連経費	18,500,000
	合計	246,496,000

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・解決すべき社会課題が妥当である。対象とする社会課題及び既存機関における人的資源の限界から休眠預金の活用意義は大きいと考えられる。 ・蓄積した知見等に基づく事業設計が適切で、具体的であり、実行可能性が高いと考えられる。 ・実行体制面、能力が十分で人員配置も明瞭である。実行団体の選定基準と審査方法について具体化され、実行団体が休眠預金をどのようにに活用するか具体的なイメージが出来ている。 ・中間支援のチェンジエージェン機能が支援の多重化につながるのではなく、現場の確実な支援につながることを明確にしていきたい。 ・被害者だけでなく加害者も含めたシステムチェンジを志向していきたい。 ・より弱い立場、より困難な立場にある人や、これまでそれらの人を支えてきた現場から全チェンジエージェン機能が学び続ける姿勢を期待したい。
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。